

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○	○		○	○	○			○	○			○

企業の概要

企業・団体名	SMN株式会社	本社所在地	東京都
業種	サービス業(他に分類されないもの)	総従業員数	230名
事業概要	マーケティングテクノロジー事業		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	テレワーク制度ガイドライン
テレワーク担当部署	人事課
テレワーク対象者	全社社員
実施者数	230名
平均実施日数	月8回以上12回未満程度(概ね週2~3回)

テレワークの導入・拡大の経緯

- 組織の業務効率向上、アイデアが創発される 組織風土の醸成、社員個人の生産性・アウトプット向上を期待し導入している。
- 導入時期は2019年。
- 拡大時期は2020年4月以降で、コロナ禍での出勤制限により拡大した。

テレワークの概要・特徴

【対象】

- 全社員、且つアルバイト、派遣社員、常駐業務委託社員も対象

【場所】

- 自宅、シェアオフィス、サテライトオフィス、その他会社が認めた場所

【利用日数】

- 無制限

【特徴】

- 「在宅ワークサポート」制度あり。会社がオフィスチェアやデスクのサブスク契約の半額を負担。

テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- 業務内容とチームによって最適な「働き方」が見つかったことによって、社員一人ひとりの主観的幸福がアップ。しかしまだそれが組織としての実績には繋がっていないが、必ず「創造性3倍、生産性31%、売上37%」という効果が得られると考えている。
- またオフィス戦略に大きく影響を与えており、結果としてオフィス削減による経済的に効率化に繋がった。
- そして、多数のテレワーク拠点・サービスを利用(5サービス契約)することでコロナ禍での一斉オフィス出社を避けて人流抑制に寄与したと考えている。